取組、ありがとうございました！記入したら、早めに提出しましょう！

提出しめきり：令和8年9月15日（火）必着



© 鹿児島県ぐりぶー

提出方法

＜個人でお申込みの場合＞

環境レター（この冊子）の記入が終わりましたら、提出先へお送りください。

＜学校でお申込みの場合＞

ご担当の先生にて、環境レター（この冊子）を取りまとめていただき、提出先へお送りください。（着払いでの送付が可能です。）

※提出しめきり：令和８年９月 15 日（火）必着　※例年より早くなっています！

提出先

〒891-0132　鹿児島市七ツ島１丁目１番地５
一般財団法人鹿児島県環境技術協会　鹿児島県地球温暖化防止活動推進センター
かごしまこども環境大臣事務局　宛

環境レターを提出した方の中から、「優秀賞」、「奨励賞」、「学校賞」を選びます。
優秀賞に選ばれた方は、鹿児島県知事が、「かごしまこども環境大臣」に任命し、県主催の環境イベントなどへの参加を通して地域や学校の環境保全のリーダーとして活動していただきます。

かごしま こども環境大臣
Minister of the Environment Kagoshima Children

- 表彰者及び表彰式の様子等はホームページなどで紹介します。
- 「優秀賞」を受賞された方は、受賞後２年間は「優秀賞」の再受賞はありません。
- かごしまこども環境大臣の詳細については、県のウェブページをご覧ください。⇒

※ご提出いただいた環境レターの返却は行いません。必要な方はコピー等をお取りください。
※本事業における個人情報の取り扱いについては、個人情報の保護に関する法令を遵守し、収集した個人情報は、本事業の目的のみに使用し、本事業の業務委託先以外に第三者に開示・提供することはありません。

お問合せ先

かごしまこども環境大臣事務局
一般財団法人鹿児島県環境技術協会　鹿児島県地球温暖化防止活動推進センター
〒891-0132　鹿児島市七ツ島１丁目１番地５
TEL：099-284-6013　FAX：099-284-6257
E メール：CO2@kagoshima-env.or.jp　【8：30－17：00　土日祝休】

主催　鹿児島県環境林務部環境林務課地球温暖化対策室
発行　一般財団法人鹿児島県環境技術協会　鹿児島県地球温暖化防止活動推進センター
鹿児島県地球温暖化防止活動推進センターは、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、本県の地球温暖化対策にかかる普及啓発の拠点として設置され、県民や事業者等に対する地球温暖化防止活動の指導・助言などを行っています。

令和8年度版

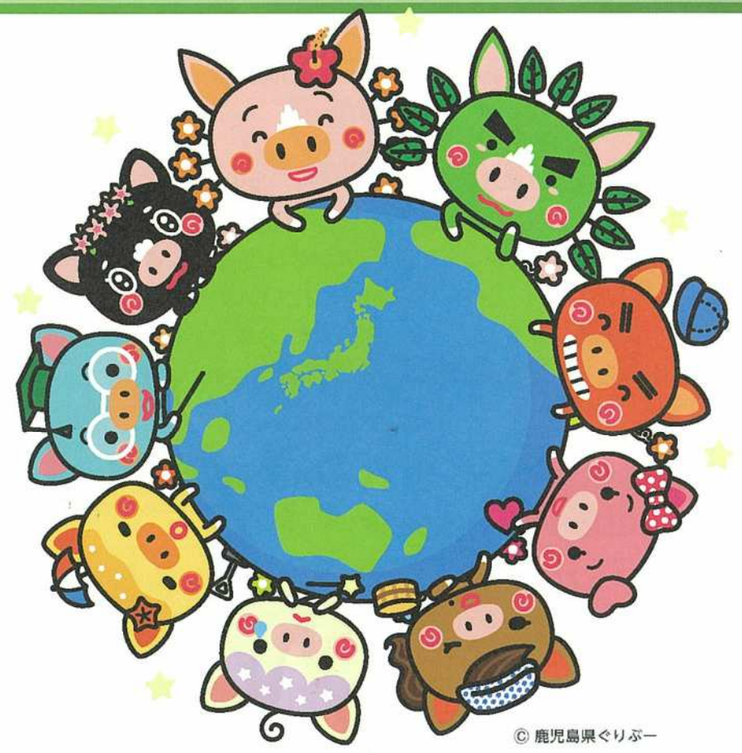
0001

かんきょう

環境レター

グリーン日記・手紙

地球温暖化対策のために、省エネルギー・省資源に取り組んで、手紙を書きましょう！



© 鹿児島県ぐりぶー

＜取組期間＞　7月 18 日(土)～8月 18 日(火)

（学校名）大崎町立持留　小学校／中学校

ふりがな　やなぎはら　えと
4　年　　組　名前　柳原　依都

鹿児島県

■手紙■　手紙を書こう！

①題　名　手紙の題名を書いてください。

②内　容　みなさんが日頃から自然や環境を大切にするために行っていることや考え、グリーン日記をつけてみての感想などを、未来の自分や世界の人、県知事など自由に選んで手紙の形で書いてください。

③用　紙　手紙の用紙は7～8ページを使ってください。1枚以上、2枚以内。

手紙の題名　未来の持留地区と世界の人たちへ

6年前の7月、大雨でぼくの住む持留地区は大きなひがいを受けました。土石少くずれで道路がうまりホタルが住んでいた池も土でうまってしまいました。それからホタルは見られなくなりました。

「ホタルをもう一度見たい。」

地域の人たちは2年前から池をよみがえらせる活動を始めました。ぼくも草かりをしたり木を植えたり、ホタルのよう虫のエサになるカワニナを放流したりしました。

しかし去年の夏、池の近くの川にはペットボトルや空きカンが捨てられていました。ポイ捨てされたゴミは、川の生き物やホタルが住めない原因になります。ゴミの分別が大変だからかなとぼくは思いました。

大崎町はリサイクル日本一の町です。ゴミ分別は、26分類もありますがわからないときは家族やゴミ分別アプリで調べることができます。分別を続けることが、環境を守ることにつながると思います。

今年の5月、ぼくは3匹のホタルを見ることができました。小さな光でしたがとてもかがやいて見えました。

「おかえりなさい、ホタルさん。」

未来の人たちへ伝えたいことがあります。自然はこわれると元にもどすのに長い時間がかかります。でも、一人ひとりがゴミをきちんと分別し、ポイ捨てをしないことで自然を守ることができます。そして、ぼくの住む大崎町のようにリサイクルをする市町村がふえると、環境もこわれにくくなると思います。「混ぜればゴミ、分ければし源」を合い言葉に、家族や友人と楽しく分別してみませんか。

ぼくは、未来の子どもたちにも、たくさんのホタルが飛ぶ持留地区を見てほしいです。